

“This is Me.” 自分らしくあるということ

日中はまだまだ汗ばむ陽気ですが、朝晩の冷え込みは、秋の深まりを感じさせます。後期がスタートして早1か月ほど。秋と言えば学校では様々な行事が目白押しの季節です。校外学習や宿泊学習、修学旅行……。学校間交流(本年度は、中央小学校、荒尾第4中学校の児童生徒さん方と交流させていただきました。)も復活です。

そんな中、各学習グループの先頭を切って、先日、重複障がい学級の学習発表会「ARACYO 発表会」を開催しました。3つのチーム、「DRUM RAO(叩いて鳴らす楽器チーム)」「Let's Allaween(振って鳴らす楽器チーム)」「This is Me.(身体で表現するチーム)」に分かれて、一人一人が自分の得意な動きを駆使し、様々な表現方法で学習の成果を発表しました。たくさんの保護者さんを前に緊張した表情の子どもたちでしたが、いつも一緒に学習している先生や仲間と一緒に精いっぱいのパフォーマンス。笑顔と歓声、そして拍手の嵐。子どもたちのほっとしたような、そして充実した顔がたくさん見られました。笑顔あふれる感動の発表会でしたが、それは、一人一人のキラキラした輝きが私たちにダイレクトに伝わってきたからだと思います。チーム名にもなった”This is Me.”は2017年に公開されたミュージカル映画「グレイテスト・ショーマン」で使われた歌。「これが私」という歌詞のとおり、子どもたちの堂々とした発表は「自分らしくある」という大事なことを私たちに改めて教えてくれました。自分らしくあるということ、そしてそれをお互いに認め合い支え合えることの素晴らしさを肌で感じることができ、子どもたちや職員の頑張りに感謝した一日となりました。